

—JNMS のページ—

Journal of Nippon Medical School

Vol. 73, No. 2 (2006年4月発行)

Summary

Journal of Nippon Medical School に掲載しました Original 論文の英文「Abstract」を日本医科大学医学会雑誌に和文「Summary」として著者自身が簡潔にまとめたものです。

An Epidural Initial Dose is Unnecessary in Combined Spinal Epidural Anesthesia for Caesarean Section

(J Nippon Med Sch 2006; 73: 70-74)

脊髄くも膜下硬膜外併用麻酔で行った帝王切開術において、局麻薬の硬膜外初回ボラス投与は必要でない

本郷 卓 北村 晶 横塚 基金 徹

坂本篤裕

日本医科大学麻酔科学

脊髄くも膜下硬膜外併用麻酔は帝王切開術の麻酔として広く行われており、通常は硬膜外麻酔で術後鎮痛を行うために局麻薬を持続投与する前に、鎮痛範囲を広げるために局麻薬の硬膜外初回ボラス投与を行う。しかしこの麻酔方法では局麻薬の硬膜外初回ボラス投与を行った際に、局麻薬がくも膜下腔に移行したり、volume effect によって脊髄くも膜下麻酔の麻酔高が上昇したりすることが知られている。さらに妊婦では脊髄くも膜下麻酔の麻酔高が高くなりやすいため、より以上に脊髄くも膜下麻酔の麻酔高が高くなる手技は避けたい。そこで硬膜外初回ボラス投与が術後鎮痛に必要などうかを検討した。その結果、局麻薬の硬膜外持続投与を行う前に、硬膜外初回ボラス投与を行った群も行わなかった群も同程度の術後鎮痛が得られ、両群とも脊髄くも膜下麻酔のみで硬膜外麻酔を使用しなかった群より良好な術後鎮痛が得られた。

Light-emitting Diode Phototherapy at 630±3 nm Increases Local Levels of Skin-homing T-cells in Human Subjects

(J Nippon Med Sch 2006; 73: 75-81)

630 nm±3 nm 発光ダイオード照射療法によるヒト皮膚の skin-homing T-cells レベルの活性化

竹崎伸一郎¹ 尾見徳弥^{1,2} 佐藤 茂³ 川名誠司¹¹日本医科大学付属病院皮膚科²クイーンズスクエアメディカルセンター皮膚科, 横浜³日本医科大学中央電子顕微鏡研究施設

X線や紫外線と並んでレーザーによる赤色光も医学領域に広く応用されてきた。最近、レーザー光に近い単一波長性を有し、さらにレーザーをしのぐ優位性を持つ光を発する発光ダイオード(LED)が開発され、美容医学領域で利用され始められた。630±3-nmのこの赤色光は皮膚にどのような影響を及ぼすのだろうか?この基本的な問いに答えるために正常ヒト皮膚に照射実験を行った。形態学的な変化は主に他稿で述べ、本稿では皮膚の免疫学的な変化を皮膚の skin-homing T-cell culture の系で検討した。照射皮膚よりリンパ球を培養し、IL-2産生とIL-4産生を指標として定性的/定量的PCRを行った。結果は630±3-nm赤色光の照射は急性炎症反応を伴わないが、照射皮膚においてIL-2とIL-4(特に後者)の産生が高まっており、Th-2優位のT細胞系の活性化が起きていることが証明された。

Outcome of Surgical Treatment of Synchronous Liver Metastases from Colorectal Cancer

(J Nippon Med Sch 2006; 73: 82-88)

大腸癌同時性肝転移症例に対する肝切除例の検討

谷谷信彦 吉田 寛 真々田裕宏 松本智司

水口義昭 鈴木英之 古川 清憲 秋丸琥甫

田尻 孝

日本医科大学臓器病態制御外科学

大腸癌同時性肝転移症例に対する肝切除例の予後を検討し、治療戦略を確立することを目的とした。大腸直腸癌の肝転移に対し肝切除を行い、初回切除・肉眼的治癒切除例は108例であった。同時性67例、異時性41例。同時性例のうち45例は大腸癌手術時に肝転移を認め、そのうち37例は同時肝切除を行った。全症例の累積生存率は3年51.4%、5年41.6%、10年30.9%で、同時性、異時性で差はなかった。同時性例では、原発巣の壁深達度、n因子、肝切除時のsurgical marginの有無が有意な予後因子であった。また、切除時期で生存率に差はなかった。大腸癌同時性肝転移症例は原発巣の根治的切除とsurgical marginをとった適切な肝切除を同時に施行すべきである。